

初歩から学ぶ英語点訳

四訂版補足説明

(2015年9月)

I. 新表記法 UEB について

英米を含む英語圏各国では、点字の表記法を統一英語点字 (Unified English Braille: UEB) へ移行する取り組みが進んでいる。UEB では、これまでの英語点字から九つの略字が廃止され、カッコなど記号類の一部も形が変わるなど、点字の書き方のいろいろな部分に変更が加えられている。

この動きを受け、日本では、中学校の英語の教科書等に 2016 年度から、高校の英語の教科書等へは 2017～2019 年度に、順次 UEB が導入されることになった。しかし、社会人を含めた日本の点字使用者の間に UEB が広く知られるようになるまでには、かなりの年数を要するものと思われる。

日本ではこれまで、アメリカ式の英語点字表記法 (English Braille American Edition: EBAE) が広く用いられてきた。本書で解説しているのも EBAE である。日本での UEB の導入は、読者の状況に応じ無理のないペースで進めるべきであり、特に各種試験においては、点字表記法の違いで受験者が不利にならないような配慮が求められる。

英語関係の点字図書・資料を製作している出版社・施設・団体等においては、読者の多様な状況に鑑み、EBAE のニーズも数年はなくなることを念頭に、人材育成や仕事の分担などを考えていただければと願う。なお、UEB については、福井哲也著『エッセンシャルガイド 統一英語点字 UEB で何が変わるか』(日本ライトハウス、2015年)などを参考にされたい。

また、英語の教科書・試験問題等以外の、一般日本語文章中に出てくる英語の語句や英字で書かれる名前などには、2016 年度以降も原則として UEB は導入せず、EBAE におおむね準拠した書き方とすることが、2015 年度の日本点字委員会総会で決定されている。詳しくは、日本点字委員会ホームページ (<http://www.braille.jp>) に 2015 年 9 月掲載の告知等を参照されたい。

II. EBAE 2008 年版の変更点

本書の記述は EBAE 2002 年版に準拠しているが、本書発行後の 2008 年に EBAE が小改訂されている。主な変更点は、斜線 (/) が ≡≡≡ に変更されたこと、記号類がいくつか追加されたこと、「1970s」など点字だけ s の前にアポストロフィを補う規則が廃止されたことなどである。

以下に、本書の記述中、EBAE 2008 年版で変更となった箇所を列記する。

第 1 部 学習編

アルファベットと諸記号

文章記号表 斜線を ≡≡≡ に変更 (p.11)

0-4 の 1 番目の [例] cut/copy の斜線を新記号に (p.14)

LESSON 8 記号の用法

8-1 の 2 番目の [例] L/C の斜線を新記号に (p.74)

8-2 の 4 番目の [例] he/she の斜線を新記号に (p.74)

8-4 の 2 番目の [例] c/o の斜線を新記号に (p.77)

DRILL 15 NOTES 196. (and)/or, c/o の斜線を新記号に (p.82)

(綴りと文脈から andstor, csto とは読めない) → 削除

第 2 部 活用編

第 3 章 記号の使い方



第 2 節 分綴法

補則 12 (j) の [例] he/(sh)e の斜線を新記号に (p.111)


≡≡≡≡≡≡≡≡
≡≡≡

第 3 節 アポストロフィ


補則 14 (a) の規則は廃止 (p.113)

[例] five 3s  1970s 


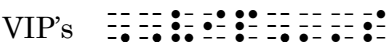
VIPs 

また、OKd 

(b) の規則も廃止 (p.114)

hm 



第6節 略称の書き方

補則 23 (a) 第3段落 二重大文字符の効力とアポストロフィの関係は…の規則は廃止 (p.121)。二重大文字符の効力は常にアポストロフィの後まで及ぶ。よって、I'M  VIP's 

第7節 イタリック符と終止符

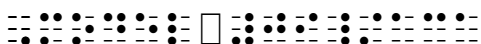
補則 26 (a) の規則は廃止 (p.124)。かわりに「注意」(p.125) で述べた書き方が本則となった。

第9節 数字・単位・その他の記号の書き方

補則 29 (c) 分数は、ここに示したとおり、分数線に  を用いた書き方でもよいが (p.128)、分子と分母が斜線をはさんで同じ高さにある場合には、斜線  を用いて書くこともできる。

1/2 

第3段落の規則は廃止 (p.129)。斜線で区切られた数字は分数でなくても、斜線の後に数符は不要となった。

Model 09/131 

(d) 第1段落の規則は一部変更 (p.129)。日付を略記する場合、墨字でハイフンまたは斜線が用いられているときは点字でも墨字に倣って書く(ハイフン・斜線の後に数符は繰り返さない)。墨字でそれ以外の記号が用いられているときは、点字ではハイフンに置き換える。

(f) 説明文および [例] の *devided*→*divided* (誤植訂正) (p.129)

(g) 第1段落後半は変更 (p.129)。2nd, 3rd の語尾として墨字で d だけが書かれている場合、点字でも墨字どおりに書く。

2d ⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠ 3d ⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠

補則 30 表 1 (p.134) から次のものを削除。

@ &

表 2 (p.134) に次の記号を追加。

& ⠠⠠⠠⠠ @ ⠠⠠⠠⠠ # ⠠⠠⠠⠠ © ⠠⠠⠠⠠ ® ⠠⠠⠠⠠
TM ⠠⠠⠠⠠

(b) の1番目の例 (p.131) のうち次のものは、表2の新しい記号を用いて書くことになる。

#345 ⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠ 10# ⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠

Tom & Jerry ⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠

2番目の [例] (p.132) のうち、#A は、⠠⠠⠠⠠⠠⠠ と書くことになる。

3番目の [例] (p.132) のうち、@ & # は削除。

(c) の1番目の例 (p.132) で、£2/4/8 は ⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠ と書くことになる。

(e) の [例] (p.133) のうち、© PowerBraille™ は削除。

斜線 (/) ⠠⠠⠠⠠ の用法について、新たに次の規則が定められた。

(1) 斜線の前後のマスあけは墨字に従い、詰めることも、1マスあけることもできる。

(2) 数字の間に斜線が入るとき、斜線の後に数符を繰り返さない。

(3) 数字の後に斜線、その後に英字が続く場合、斜線の後に文字符をはさむ。

15/a ⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠

(4) 単独の英字が斜線と接している場合、英字に文字符は不要である。

c/o ⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠

(5) 縮語と誤読される文字列が斜線と接している場合、文字符が必要である。

CD/DVD ⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠

(6) 次の略語・略字を斜線に接して用いてはならない。

(a) and, for, of, the, with を除く 1 マス略語

this/that ⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠

to/from Osaka ⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠

from/to Osaka ⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠

(b) 語頭低下略字 be, con, com, dis

trust/believe ⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠

remain/come ⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠

(c) 低下略語 be, enough, were, his, in, was

in/out ⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠

his/her ⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠

(7) 全部大文字の単語や略称が斜線で結ばれている場合、斜線の後に二重大文字が必要である。同様に、イタリック体の語が斜線で結ばれている場合、斜線の後にイタリック符が必要である。

USA/UK ⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠

boys/girls ⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠

(8) 斜線で結ばれた語を行末で分綴する場合は、行末に斜線まで書いてその後ハイフンを置く。

* 「別表」 文章記号の斜線／も変更

凸面 ⠠⠠⠠⠠ 凹面 ⠠⠠⠠⠠